

令和 2 年度事業報告

晴見保育園

昭和 41(1966) 年 7 月認可開設
昭和 60 (1985) 年 4 月改築 (建替え)
平成 29(2017) 年 5 月外壁塗装
定員 80 名

1 はじめに (全体的状況)

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大予防の為の緊急事態宣言が発令され府中市からの指示のもと 4 月 13 日 (月) から 5 月 6 日 (水) まで、臨時休園を行いました。その後も感染者急増の為、臨時休園は 5 月 31 日 (日) までの延長になりました。

臨時休園中、府中市から父母共に医療、介護、公安等の保育が不可欠であると判断された家庭の園児は保育の受け入れを行うよう指示があり、当園では、日々 2 割ほどの園児が登園してきていました。

必要数の職員が交代で勤務を行い他職員は自宅勤務とし、それぞれの業務に必要な教材づくりや資料作りを行い報告書作成、提出することと致しました。それぞれ仕上げたものは、ファイルにまとめ回覧を行い職員相互の晴見保育園資料と致しました。

臨時休園以降は、保育受け入れ、引き渡しは、園庭テラスから行い、保護者園内入室を禁止しました。

その他、コロナ感染防止対策としまして、毎朝の保護者・園児体温チェック。アルコール手指消毒。職員・保護者マスク着用。幼児クラス食事時仕切り板設置。園内外及び玩具等消毒の徹底に取り組みました。

少し落ち着いた 6 月後半になって、玄関からの入室。各クラス扉前での受け入れに変更致しました。玄関には、AI サーマルカメラを設置し、職員が非接触型体温計で、一人ひとり検温する作業からも解放されました。

しかしながら、感染者数の状況は変わらないため、保護者の園内短時間滞在はそのままに、荷物の整理等は、引き続き職員で行うようにしました。

行事については、多くの行事を中止と致しました。

運動会については、内容変更を行いビデオ撮影後 DVD にして 5 歳児には各家庭配布、その他のクラスには回覧させて頂きました。

クリスマス会については、4・5 歳児クラスは、観覧者をひと家庭一人とし来園見学していただきました。その他のクラスについては、運動会同様ビデオ撮影を行い、後日 DVD を回覧させて頂きました。

保護者の皆様からは、「見たかった。」等の声もありましたが、おおむねご理解、ご協力いただけました。

懇談会については、各クラス便りを作成し、クラスの様子を保護者へお知らせ致しました。

5歳児のお泊り保育については、7月から11月に日程を移動、内容変更を行い実施いたしました。園内宿泊は行わず、大型バスにて羽村動物園への園外保育を行い、その後保育園に戻り、夕食・キャンプファイヤー・肝試しをした後、降園というスケジュールでしたが、園児・保護者ともに喜んでいただき、感謝の言葉もいただきました。

(2) 保健衛生関係については、大きな感染症の発生はなく、安定した保育を実施することが出来ました。特に、新型コロナウイルス感染症感染予防の為に園内消毒・衛生については、全職員で十分配慮し取り組みました。また、幼児クラスには空気清浄機つき加湿器を設置することが出来ました。

2 重点目標の評価とその実施状況

(1) 保育内容の充実を図る⇒△○

ア 晴見保育園作成による保育実施要領を基に、保育所保育指針を考慮した各クラスの発達に応じたカリキュラムを立て、保育に取り組むようになりました。

イ 地域教育機関との連携による保育は、新型コロナウイルス感染症感染予防の為に、すべて中止となりました。

ウ 行事について、新型コロナウイルス感染症感染予防の為に、中止にしたものが多かったのですが、内容や時期を変更して工夫して行った行事もあります。特に5歳児の行事については、全職員で話し合いを重ね、実施可能な内容等に変更し行い、保護者からも感謝の言葉を多くいただきました。

(2) 地域子育て家庭支援の充実と定着⇒△○

ア 一時預かり保育の本年度の利用者合計数は1,193名。昨年度末2,017名で前年度より824名の減となりました。

令和2年度は4月当初より、コロナ感染が怖いと予約を控えられたり、登録自体を控える方が多かったことが減数の理由と考えられます。

また、預かり保育(定時保育終了後延長で保育を行う事)を行う幼稚園が増加の傾向にあり、このことも、晴見保育園の一時預かり利用登録者が減少にある理由でもあると考えられます。

イ 地域に向けた様々なイベントは実施出来ませんでした。園児が近隣の公園に散歩に出かけた時等には、公園に遊びに来ていた親子連れに声をかけ園児と一緒に遊んでいただいたり、紙芝居などをご覧いただき、簡単な保育園体験をしていただきました。また、育児についての悩み等もお尋ねして、その場にて育児相談もさせて頂きました。

(3) 新人職員育成のための職員体制の強化⇒○

新人職員の育成は、所属クラスリーダーが主に担当していますが、同じクラスの職員にも新人職員のチューター役を命じており、さらに乳幼児各クラスリーダーがクラスリーダーへの的確な助言やサポートを行い、効果的な新人養成への取り組みを行うことが出来ました。

(4) 保育環境の計画的な整備⇒×

乳児組保育室壁紙交換を予定していましたが、コロナの影響もあり、外部業者の園内入室を見合わせたため、実施出来ませんでした。

3 その他

令和2年度は、産休・育休取得職員3名。育児時短取得職員1名。腰椎間板ヘルニアの手術のための休暇取得者2名。病休（骨折）取得職員1名の発生があり、職員のシフト調整が極めて困難な状況でした。

未曾有の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為の様々な対応について、保育に影響が出ないように全職員で思案し、協力し乗り越えて来ましたが、職員には体力的及び心理的な負担をかなりかけてしまった1年になりました。